



小豆島・豊島

島で子育て！ GUIDE BOOK



島ではじまる、
おやこのくらし



Where shall we go?

いまの環境が子どもに合っているのか…
子どもとの時間を増やせる場所に移りたい…

このガイドブックを手にとっていたいただいた皆さまは、このようなことを考え始めたのではないで
しょうか。

お子さんが歳を重ねるにつれて、いろんな心配や
葛藤が出てきます。

大人の方も、都市部での生活を続けること自体や
住環境、仕事、そして子育てといった悩みが尽き
ません。

もし今の生活に違和感が出てきていたら、「自
分たちに合った暮らしができる場所」を少し探
し始めてみませんか？
もしかしたら、今より心豊かな暮らしが待って
いるかもしれません。

ご覧いただいて、「興味が湧いてきた！島に行き
たい！」という方は、ぜひご相談ください。
島でお会いするのを楽しみにしています！！

INDEX

- 01. 小豆島・豊島ってどんな島？
- 03. 子育て移住ステップ
- 05. しまびとインタビュー
- 13. 保育・教育
- 15. 習いごと
- 17. 医療
- 18. 子育て支援
- 19. 子育て情報
- 20. 移住サポート

しょうどしま 小豆島って？

とのしょう
土庄町・小豆島町の2町からなる瀬戸内海で2番目に大きな離島です。
日本三大渓谷美の一つである寒霞渓、エンジェルロード、二十四の瞳映画村など観光名所も多く、年間100万人を超える観光客が訪れます。

- 人口:25,332人(2024年1月現在)
- 〔土庄町(小豆島部分):11,995人
小豆島町:13,337人〕
- 面積:153.25km²
- I・Uターン者数:小豆郡全体445人(2022年度)



島への玄関口・土庄港がある土庄町は、“商業のまち”として発展してきました。町の中心地には大型商業施設もありつつ、少し車を走らせると海・山を感じられるバランスの良いエリアです。



東側の小豆島町は、“産業のまち”として、古くからの伝統を多く継承しています。国内のオリーブ栽培発祥の地でもあり、他にも醤油・素麺・佃煮といった特産品も多く生み出しています。

てしま 豊島って？

唐櫃の棚田からは海を望む美しい景色が目の前いっぱいに広がります。米、いちご、みかん、レモンやオリーブなどの栽培が盛んです。豊島美術館をはじめとする現代アートの施設や作品もできたことで、国内外から多くの方が訪れ、今では年間約26万人もの方々が自然とアートが融合した“豊島”でのゆったりした時間を楽しみに来島しています。

- 人口:745人(2024年1月現在)
- 面積:14.50km²

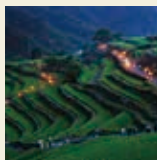


檀山は、豊島のシンボル。ここから湧き出る豊富な水が作物を育んだり、海に流れた養分が漁場を作っていたところが「豊かな島」の由来ではないかという説もあります。



豊島美術館前の坂道と棚田は、メディアで取り上げられることも多く、「豊島らしい」風景です。棚田再生には多くの方の努力があり、今でも維持するために、尽力されている方々がいます。

文化



虫送り

火の灯った松明を手に、棚田のあぜ道を練り歩きその年の豊作を祈願します。小豆島では肥土山(ひとやま)地区と中山地区で行われます。



小豆島まつり

屋台が出たり、花火が上がったり。お盆に帰省した人たちが夏休みの子どもたち、島の人々が楽しみにしている夏祭りです。



中山・肥土山農村歌舞伎

300年以上前から受け継がれ、今でも役者、化粧、浄瑠璃、衣装など全て島の人たちが担当して上演しています。



太鼓台奉納(秋祭り)

男衆が威勢のいい掛け声とともに、太鼓台を担いで地区を回ります。大人も子どももみんな総出の秋の風物詩です。

島の子育て！／

押しポイント



豊かな自然

穏やかにキラキラと輝く海、広大に広がる山々、豊かで美しい田園風景…
気が向いたときに気軽に自然を楽しむことができる島。晴れの日が多く、穏やかで過ごしやすい！



多様な文化と風景

漁村に棚田、オリーブ畑や採石場、山にたたずむ寺院など、訪れる地域によって異なる景色が広がる小豆島。農村歌舞伎や虫送りなど、古くからの文化も実に奥深い。



ちよつと良い
便利さ

完全離島でありながらも、利便性の良い島。医療・福祉・教育施設の他、スーパー、ホームセンター、飲食店、公園、図書館、銀行など…必要なものは揃っている安心感。



人柄の良さ

島民の多くは移住者の受け入れにも前向き。面倒見がよく、気さくでフレンドリー。子どもたちを“地域の宝”として大切に扱う空気感がある。



少数ながらニッポンの手厚さ

都心部に比べると少数だけど、少なすぎないちょうど良い規模感。伝統行事への参加や自然活動など、自然が豊かで少数だからこそ体験できることも多い。

子育て移住ステップ

「#小豆島で子育て」で
検索してみてね！



START



1. 理想の暮らしの 解像度をUP

大事な価値観、失いたくないものは
なんだろう？ 自分会議だけでなく、家
族会議も重要。条件をリストアップ
してみよう！ 子どもの気持ちの確認
や、相談、フォローも忘れずに…

2. ネット・SNSで 情報を集めよう

「こんなはずじゃ無かった」を防ぐ唯
一の方法は、事前の下調べ。
ネット等で知れる情報は全て調べ
よう！ 気候や災害リスクを知ってお
くのも大事。

4. 現地訪問・ お試し移住

島の時間の流れ、人の雰囲気、
興味がある集落の情報
…ネットの情報だけではわ
からない、“なんかいいな”と”
笑顔”を探しにいこう！

3. 相談窓口で 相談しよう

移住準備の進め方については、NPO
法人トティエへお気軽にご相談を！
土日祝+（ときどき）夜間もいろんな
手段で相談ができます。

👍 P.20

5. 島に知り合いを 増やそう

島ぐらしの要はやっぱり、人！
SNSでの交流やイベント参加で
人と出会えば、繋がりが広が
り、気持ちがぐっと軽くなる。

6. 転職活動

仕事が決まっていなくて家が
借りられない場合がほとん
ど。家探しよりまずは職探し。
島内企業に限らず、
リモートワークもお
すすめ！

7. 住まい探し

既存住宅の中から理想を100%
叶えるのは難しい…まずは希望
を可視化しよう。欲張らず、条
件は3つに絞ると叶いやすい！
島内で二段階移住する方も
多いです！

10. GOAL!!

ようこそ小豆島へ！



移住はゴールであり、スタート。
一緒に島ぐらしを楽しみましょう！

8. 保育施設/学校への 連絡・見学

お子さんが過ごす大切な居場所。
転園・転校の意向は早めに伝え、
手続きの流れを確認しておこう！

👍 P.13

9. 頼り先を 見つけておこう

移住後、想定通りにいか
ないこともきっと出てくる。そ
んな時に安心して頼れる先
を探しておこう。（相談窓
口、友人、一時保育など）

小豆島の生活情報



島内外のアクセス

- ・定期航路が運航している港が小豆島には4港、
豊島は2港あり、行き来が便利。
- ・島内の主な公共交通はオリーブバス。幹線道路沿いは運
行本数も多いです。
- ・職場と自宅が近い方は自転車等で通勤し、お昼休みは自宅
で昼食という方も。



店 舗

スーパーマーケット・ドラッグストア等の中型規模以上の店
舗が島内に9店舗、コンビニエンスストア6店舗、ホームセ
ンター、100円ショップ、ファミリーレストラン、家電量販店等
があります。
他にも地元商店、移住の方がはじめたカフェ等も多くあり、
架橋されていない離島の中では充実している方です。ま
た、移動販売や生協が利用されている方も多いです。



携帯電話・インターネット

小豆島・豊島はほぼ全域で光回線の敷設が可能。携帯電
話は主なキャリアの利用ができ、島内には大手3社のショッ
プもあります。



郵便・宅配便

島内各地域に郵便局があります。ゆうパック・宅急便は離島
料金がかららず、ネット通販は翌日届くこともあり活用され
る方も多いです。



金融機関

ゆうちょ銀行、香川県農協、百十四銀行、香川銀行等の
支店があります。コンビニエンスストアにもATMが設置
されています。



その他

- ・小豆運転免許更新センターがあります。
- ・パスポートの新規申請・更新等が可能。
（香川県小豆合同庁舎）
- ・幅広い年代でSNSをしている方が多いので、まずは
SNSで最新情報を入手！
- ・島民が参加できるイベントも多いので、積極的に参加
して交友関係を広げよう！

医 療



島内には、病院・診療所が15院あります。池田地区にある
小豆島中央病院は地域医療の中核となっており、多くの
診療が可能。ただし、緊急を要する場合や高度医療が必要
とされる場合はドクターヘリや救急艇での搬送も行っ
ています。他にも歯科医院が複数あります。

生活インフラ



電 気：中国電力の管内。
ガ ス：都市ガスは未通のためプロパンガス。
水 道：ほぼ全域に上水道が敷設されています。
島内にダム4箇所あり。
下水道：一部を除き通っていません。
汚水処理は浄化槽もしくは汲み取り。

保育・教育



- ・保育施設：小豆島に17施設、豊島に1施設。👍 P.13
- ・教育 👍 P.14
- ・その他
- 小学校：小豆島5校、豊島1校 図書館も各町にあり、
中学校：小豆島2校、豊島1校 蔵書も充実。
- 高校：県立高校が小豆島に1校
高松市内の高校にフェリー通学している方もいます
- ・塾・習い事 👍 P.15
- 塾は各地区にあり、海外から来た方が教える英語塾も。
習い事もスポーツや自然を活かしたアクティビティ、文化
系まで種類が多いです。

こんなことも…

台風や濃霧、強風等で全船
船が停船する日が1年に数
日あります。船舶でしか島
外に出られないので、荒天
時は諦めるしかありません。

住む地区によっては野生
動物（イノシシ、鹿など）と
の遭遇も。

高校までしかないので、卒
業後は島外に進学する子
どもが多いです。

島内は屋内娯楽施設が少
ないですが、高松が近いの
で組み合わせは可能。

自然が近い＝虫の出現も
多くなります。

幹線道路の周辺地区以外
はバスの運航本数が少な
いので、車が必須。子育て
世帯は生活面でも遊びで
も、車が無いと親子ともに
行動が制限されるかも。

高度な習い事は難しい。お
子さんが継続してやりた
いことがあるなら十分相
談を。

インターネット・SNSから
の情報収集やコミュニ
ケーションは、移住前も移
住後も大事！

街灯が少ないところある
ので、「家」だけではなく、地
区の環境も要チェック！

不安な点はいつでも
ご相談ください！

→ P.20
移住
サポート

CASE 01

無理せず、周りとも比べない
自分たちらしく過ごせることの大事さ



たくさんの大人のお世話になって、
親の手を離れ、地域の子になった感覚。

富山で暮らしていた八倉巻さんファミリー。夫婦ともに旅行が好きで、次に気に入ったところに住んでみようと考えていた中で、小豆島の「移住体験ツアー」があり参加。1年後、長男が3歳の時に移住。〇〇くんのパパが消防士、ママが保育士。近所の〇〇さんが、医師。醤油屋さん、佃煮屋さん……のように、色んな職業の人が身近で、支えあって生活しているのを感じられる日々だという。



八倉巻 ファミリーの休日

- 7:30 朝食
- 午前中 長男は部活、次男とパパでサッカー、サイクリング
ママは、家事&のんびりタイム
- 12:30 みんなでランチ
- 14:00 次男スポ少のサッカーへ
長男は遊びに行く
- 18:00 ママと子ども達で
スポ少のバドミントン

八倉巻 健太郎さん・絵美さんファミリー
夫（健太郎さん）：醤油製造会社勤務 趣味はサッカーとランニング
2023年、駅伝に初参戦
妻（絵美さん）：オリブ関連会社勤務
中学時代からバドミントンを始める
長男：バドミントン・ゲーム好きな中学生
次男：サッカー、バドミントン、フルートをこよなく愛する小学低学年

CASE 02

友だちと助け合いながら
紡いでいく生活の心地良さ

離れたくない仲間と地域に出会い、
チャレンジする勇気につながった。

家族で暮らしていた下関から、当時勤めていた佃煮製造会社の転勤で小豆島へ。6年経ち、喜びから悩みまで共有できる仲間ができて肥土山地区で定住する気持ちが固まったという。前職で、こだわった食材が消費者に刺さる事に気付き、次に仕事にするなら一次産業、少人数でできるものと考え、「トマト農家」へ転身。娘さんたちも、苗を植えたり、わき芽取り等の作業をして、おこづかいを貰うのを楽しみにしているそう。



鹿嶋 ファミリーの休日

- 5:00 パパ起床・朝食
- 7:00 ママ&子ども 起床・朝食
パパトマトハウスへ
- 9:00 子ども達は友だちの家へ
ママ脱毛サロンの仕事
- 12:00 ママも合流して友だちの家でごはん
- 13:00 子ども達は引き続き遊ぶ
ママ脱毛サロンの仕事
- 18:00 家族で友だちの家で夕食
- 21:00 帰宅

週3〜4日で友だちとおうちごはんをしたり、BBQやキャンプ、旅行などにも行っています

おえかきや
工作が大好き
です

人との距離が近いですね！
運転中にすれちがったり、スーパーでよく知り合いと会うような環境を楽しめる人は島が向いていると思います

バドミントンを
友だちと習っていて
楽しいです



INTERVIEW
WITH

鹿嶋 大介さん・知代さんファミリー
夫（大介さん）：宮崎出身、きっちり計画するタイプのトマト農家
妻（知代さん）：下関出身、脱毛サロン&トマト農家の2足のわらじを履く
長女：きっちりしている、歌舞伎にはまった小学高学年
次女：おっとりタイプ、歌舞伎を楽しみにしている小学低学年

五感が磨かれる日々の暮らし 目にする風景、聴こえる音、島のポジティブな空気



家での食事が増え、自分たちの味覚の解像度が上がった感じがします

島の子は優しい子が多くて、ご近所さんも仲良くしてくれるので人付き合いが増えました

Photo: 中川 正子

なくていい。ないからいい。 刺激は自分たちで作れるのが面白い。

2021年、長女の中学入学のタイミングで、神奈川県から移り住んだ瀧澤さんファミリー。
2014年に開催されたアート小豆島・豊島をきっかけに瀬戸内国際芸術祭などで劇団の衣装を担当、それ以降毎年小豆島に遊びに来ていたという。
いつかは自然の多いところへ移住をしたいと考えていた中、コロナ禍で仕事もストップし、自分たちの暮らしを見直す中で小豆島への移住を決意。既に島内のつながりはあったが、内側だけのコミュニティにならないよう拓いていくことを大切にしている。



夏は瀬戸の浜で海水浴三昧



欲しいものは自分で作るが基本です。コスプレ衣装は自作します（笑）

瀧澤ファミリーの休日

- 8:00 起床
- 10:00 遅めの朝ごはん
- 11:00 長女・長男は部活や友達と遊びに出かけるなど
- 13:00 お昼ご飯
- 14:00 海へ釣りに出かけたり、お買い物に出かけたり、家で映画を見たりと各自自由に過ごす
- 18:00 近所の【まめまめ屋台】で友人たちと集まって食事&ビール
- 21:00 帰宅
- 22:00 就寝



魚が釣れた日はご馳走です！

面識のない子どもでも声をかけてくれる温かさの中で



家から見える船、じいじが乗るパワーショベル、祖父母が育ててくれる野菜、すべてが宝物。



富山で保育士として働いており、離職のタイミングで瀬戸内国際芸術祭を訪れた詩都香さん。2016年に1年くらいのつもりで小豆島に移住し、友だちの集まりの中で地元出身の佑季さんとの出会い結婚。海が見える自宅裏の畑では佑季さんの両親が作物を育ててくれており、その近くで子どもを遊ばせながら草取りをすることが日課となっている。また、職場のSTEP sports communityでは、息子さん連れで出勤し、お客さんが老若男女問わず関わってくれる。息子さんが大きくなったら、一緒に山登りやSUP、キャンプなどをすることが楽しみだそう。

田中ファミリーの休日

- 7:00 起床、朝食、着替え
- 9:00 畑や公園で遊ぶ
- 12:00 昼食
- 13:00 お昼寝
- 15:30 海辺を散歩
- 17:00 入浴
- 18:00 夕食
- 18:30 室内遊び
- 20:00 就寝



離島という性質上、地元の友だちの話を聞いても、のんびりした中で子育てできていると感じます

船、パワーショベル、トラック、海にいる小さなカニが好き！

都会の喧騒の中での子育てを考えると、島は子どもにとって心豊かな成長ができるのではないかと思います



INTERVIEW WITH

田中 佑季さん・詩都香さんファミリー
夫（佑季さん）：大阪の大学へ進学、就職後、27歳で小豆島へUターン
妻（詩都香さん）：30歳で富山から小豆島へ移住
息子：小豆島で生まれ、自宅保育中

地道に歩んだ7年間 少しずつ根付いている感覚が喜び

良い意味で人との距離が近く助け合いの文化があるので、子育てしやすいです

小学校の役員、幼稚園のPTA会長、地元の祭りなど、できるものは全て参加しています



トンネルを抜けてパッと開けた海の絶景に いつかここで店を持ちたいという夢を持った。



結婚前提の交際を始め、23歳の時に理香さんのご両親への挨拶をしに小豆島へ。その時に見た景色に心を掴まれ「こういう所で店をしたい」と将来へのイメージが明確になった真さん。30歳で独立という目標設定をし、その目標どおり家族4人で小豆島へ30歳で移住。小豆島の素材を活かした「キッチンUCHINKU」をがむしゃらに経営してきた7年間を経て、今は地に足が付き、根付いた感覚があるという。

ネイルや化粧、ゲームが好きです

ジャングルジムが大好きです

わたし、かわいい



INTERVIEW
WITH

西本 真さん・理香さんファミリー

夫（真さん）：大阪出身、DEAN&DELUCAの店長を経て小豆島へ妻（理香さん）：小豆島出身、パンの専門学校・カフェ勤務などを
経て、夫婦で「キッチン UCHINKU」を営む
長女：都会に憧れを持つ小学高学年
次女：身体を動かして遊ぶのが大好きな小学低学年
三女：かわいい癒しの末っ子ちゃん

西本ファミリーの休日

- 7:00 起床・朝食
- 8:00 出発
- 9:00 島内外のイベント参加、SUP など
- 17:00 帰宅
- 18:00 夕食
- 19:00 テレビを見ながら
まったり
- 20:00 お風呂
- 21:00 就寝



「やってみたい！」が増えていく 島で広がる家族の可能性



春でも海で泳ごうと目を輝かせる子ども。 その希望にあふれた、キラキラとした表情。

満員電車で疲れ、ずっとこの暮らしはできないと移住を検討していた佐和子さん。島に住む祖父母の「島には仕事もないし、結婚相手もない」という心配をよそに、島に来て7年目。印刷会社で働き、移住者交流会で出会った夫と結婚した。この島で生まれ島
の大自然と人のあたたかさの中で育った娘さんは、いっちょまえに小豆島弁を話す5歳児となり、夏にはシーカヤックにも挑戦。普段はひかえめながらも、親がおおらかに子育てできる分、内なる島っ子パワーを秘めていると感じるそう。

祭りや農村歌舞伎などの文化に触れたり、カヤックや焼き芋、家庭菜園など自然を体験したり。島ならではの子育てを楽しんでいます。

ヨチヨチ歩きの際に、お寺の庭を快く散歩させていただいたり、果物や野菜のお裾分けを持たせてくれたり…。子どもにあたたかい人が多いですね。

こどもさくら公園や子ども園でブランコ、おにごっこ、サッカーをするのが好き！



笠井ファミリーの休日

- 9:00 図書館の読み聞かせイベントに参加
同級生のお友達もいておおはしゃぎ！
- 12:00 帰宅 食事
- 13:00 お昼寝
- 16:00 庭の草木に水やり
トランポリンで遊ぶ
- 18:00 夕食



家庭菜園を楽しんでいます

INTERVIEW
WITH

笠井 佐和子さんファミリー

夫：関西の大学に進学。就職後、24歳で小豆島へUターン妻（佐和子さん）：28歳で神奈川から小豆島へ移住娘：小豆島で生まれ、土庄町立のこども園へ通う

息子の友だちファミリーとの付き合いや自分たちで創る暮らしから生まれるワクワク感



小さなコミュニティの中で自治に関わりながら違いを認め合える島暮らし

東京で暮らしていた、診療放射線技師の伸一さんとデザイナーの絵美さん。東京の生活を離れてドイツへ渡り、ふたりでパフォーマーとしてライブ活動をはじめ。自然と人工物の割合が程よいベルリンの暮らしでは、味噌を一から作ったり、丁寧な毎日を心がけていた。都会での暮らしよりも土に近い暮らしに興味を持ち、2016年に豊島に移住。スーパーやコンビニもなく、皆が当たり前のように野菜を育てている環境で、畑を土づくりから実践中。また、地域の寄り合いに積極的に参加する事で、「自治が東京の時よりもずいぶん身近となった」と伸一さん。



つくるのと海が大好き！



近所のおばあちゃんが野菜をくれたり、お金ではないやりとりがあります。暮らしが変わったので、創るものも変わりました。

豊島は外国人と接することも多いので、息子はいろんな人と仲良くなることが上手！



平井ファミリーの休日

- 7:00 起床
- 7:30 朝食
- 9:00 家族でモノづくりをしたり、自前の劇場での公演
- 17:00 友人家族と遊ぶなど
- 18:00 夕食
- 20:00 お風呂
- 21:00 就寝

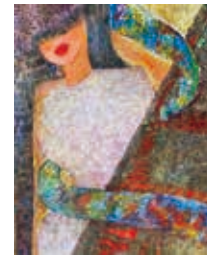
平井 伸一さん・絵美さんファミリー
夫（伸一さん）：香川県出身、元診療放射線技師で現在はアーティスト
妻（絵美さん）：神奈川県出身、デザイナー出身のアーティスト
息子：「ものづくり」が好きな、保育園児

INTERVIEW
WITH

「青春がないことが何よりの青春」自然も遊びも音も、すべて絵につながった

波に乗っている時も、乗っていない時も、小豆島が「藤戸創真」をつくった。

小1の頃、母の地元である小豆島に1ターン。幼なじみがおらずはじめは苦労したが、小2の小学校合併でなじめるように。3歳から続けてきた絵画では、小3-4で妖怪画家の柳生忠平氏に師事し、小6の夏休み(自由研究)には通っていた幸崎誠司学習塾にて「ぼくの個展」を開催。中学では吹奏楽部(ドラム)に所属した。受験期にはかがわ美術研究所にて16時から20時半までデッサン、22時まで学習塾の自習室で勉強し、帰宅後またデッサンという生活を送る。現在は、毎日海をわたり香川県立高松工芸高校・美術科に通う。



自然を活かしたクリエイティブな遊びをする友だちと触れ合う中で、買った魚と自分で釣った魚を描くのでは、向き合い方も描き方も変わったという。



小学校の頃から現在も通う学習塾。中学生の頃に自習室で高校生から生物や数学などの高校の勉強の話を聞いて、勉強に興味を持ち、絵と並行して頑張っている。

島外の色々な絵画教室にも行ってみたが合わなかったそう。島の先生たちは、月謝を払う・払われるの関係ではなく、「人間としての付き合いがずっと続いていくイメージ」と創真さん。

藤戸さんの休日

- 9:00 近所の工場でドラムをたたく
- 12:00 汗だくで帰宅 食事
- 14:00 絵を軽く描く
- 19:00 食事
- 20:00 音楽やバンドなどの映像を見る
- 24:00 就寝



表紙絵を担当した移住希望者向け冊子

テレビやドラマで普通にイメージするような「青春」は無いですが、それが僕にとっては心地良いんです



ふじと そうま
藤戸 創真さん

美大出身の両親、創真さん、2歳下の妹の4人家族。全日本学生美術展・推奨(小6・中3・高1)、他受賞歴多数。高松工芸高校の工芸展を小5で訪れ、うますぎて泣きそうになり、そこから志望するように。現在は人の心を動かせることを仕事にしたいと考えており、将来やりたいことが決まった時に実現できるだけの力をつけたいと考えている。

INTERVIEW
WITH

保育・教育

各園ともに小豆島・豊島の自然環境に触れられる体験を多く取り入れており、のびのび楽しい保育環境です。



認定こども園・保育所・幼稚園

施設名	所在地	電話番号 (市外局番0879)	種別	一時保育 預かり ※
土庄こども園	土庄町甲657番地7	62-0843	認定こども園	○
四海こども園	土庄町伊喜末81番地8	64-5152	認定こども園	○
北浦こども園	土庄町見目乙423番地6	65-2122	認定こども園	○
大部こども園	土庄町大部甲2019番地	67-2130	認定こども園	○
大鐸こども園	土庄町肥土山甲1729番地1	62-0969	認定こども園	○
① 私 土庄保育園	土庄町甲1177番地	62-0738	保育所	○
① 私 きよみ保育園	土庄町甲36番地3	62-8133	企業主導型保育園 (地域枠有)	○
① 私 瞳保育所	土庄町豊島家浦2253番地2	68-2005	保育所	
小豆島こどもセンター 池田幼稚園 池田保育所	小豆島町蒲生甲1805番地1	75-1433	幼稚園 保育所	○
星城幼稚園	小豆島町草壁本町419番地1	82-2017	幼稚園	
安田幼稚園	小豆島町安田甲491番地2	82-2018	幼稚園	
苗羽幼稚園	小豆島町苗羽2277番地	82-2019	幼稚園	
内海保育所	小豆島町苗羽甲1869番地1	82-3837	保育所	
橘こども園 旭幼稚園 内海保育所 橘分園	小豆島町橘甲450番地	82-4902	幼稚園 保育所	
福田こども園 福田幼稚園 内海保育所 福田分園	小豆島町福田甲389番地	84-2024	幼稚園 保育所	
① 私 せいけんじこども園	小豆島町草壁本町395番地	82-4228	認定こども園	○
① 私 くさかべ保育園 (せいけんじこども園敷地内)	小豆島町草壁本町395番地	82-4228	企業主導型保育園 (地域枠有)	
① 私 保育所あずきっこ (小豆島中央病院敷地内)	小豆島町池田2060番地1	75-1121	事業所内保育所 (地域枠有)	

※ 一時保育・預かり…施設ごとに定員があるため、常時預かりが可能ではありません。
利用を検討する際は事前に各施設へお問い合わせください。

詳細は、土庄町教育総務課 TEL:0879-62-7012、
小豆島町こども教育課 TEL:0879-82-7014 までお問合せください。

- ・年度始めでの「待機児童」の心配はほぼなく、現状は希望する園に通えるケースがほとんど。年度途中の入園は調整が発生する場合も。
- ・一時保育・一時預かりが利用できるところも複数あります。
- ・入園手続きは、園や条件によって対応が異なります。入園を希望する場合は、両町担当課もしくは希望する園までお早めにお問い合わせください。



小学校



学校施設	所在地	電話番号 (市外局番0879)
土庄小学校	土庄町淵崎甲2080番地1	62-0068
豊島小学校	土庄町豊島家浦2516番地	68-2020
池田小学校	小豆島町池田1760番地	75-2222
星城小学校	小豆島町草壁本町632番地1	82-2011
安田小学校	小豆島町安田甲472番地1	82-2012
苗羽小学校	小豆島町苗羽甲1371番地1	82-2013

土庄町は小豆島・豊島に1校ずつ。小豆島町は池田地区に1校、内海地区に3校あるよ



※「放課後児童クラブ」や「放課後子ども教室」など、放課後や長期休暇中にお子さんを預かりする事業もあります。

中学校



土庄中学校	土庄町淵崎甲1936番地	62-0054
豊島中学校	土庄町豊島家浦2516番地	68-2020
小豆島中学校	小豆島町片城甲44番地1	82-2136



高校



香川県立 小豆島中央高校	小豆島町蒲生甲1001	61-9100
-----------------	-------------	---------

・島内に大学はないので、進学を希望するおさんは高校卒業後に島外に出るケースが多いです。



特別支援学校



香川県立小豆島 みんなの支援学校	小豆島町池田1789番地	61-3201
---------------------	--------------	---------

土庄町・小豆島町在住の、小学部・中学部段階の知的障害のある児童生徒が対象。また、障害の状態により島外への通学等が困難な生徒の学びの機会を保障する場として、「香川県立香川中部支援学校高等部分教室」を校内に設置します。



※各アイコンは、通学方法を表しています。 歩 徒歩 バス スクールバス 自転車 路線バス

習いごと

スポーツ少年団

種別	団体名	問い合わせ先
野 球	土庄クラブ	土
	苗羽レッドスターズスポーツ少年団	小
	安田ヤンキーススポーツ少年団	小
	星城クラブスポーツ少年団	小
	池田ファイターズスポーツ少年団	小
サッカー	土庄美島サッカークラブ	土
	池田サッカークラブスポーツ少年団	小
バレーボール	湊崎JVC	土
	四海バレーボールクラブ	土
	池田バレーボールクラブ	小
バスケ	土庄ミニバスケットボールクラブ	土
バドミントン	土庄ジュニアバドミントンクラブ	土
	内海バドミントンスポーツ少年団	小
柔 道	小豆島順道館	土
剣 道	土庄剣道スポーツ少年団	土
	湊崎剣道スポーツ少年団	土
	四海剣道スポーツ少年団	土
	池田剣道スポーツ少年団	小
	誠信会スポーツ少年団	小



問い合わせ先

土 土庄町生涯学習課
Tel.0879-62-7013

小 小豆島町生涯学習課
Tel.0879-82-7015

※その他にも、不定期で開催される教室もあります。詳細は町が発行する「運動行事カレンダー」などを参照ください。

B&G池田海洋クラブ

海洋性レクリエーション（カヌー、ヨット、SUP）、地域の特色を活かした自然体験、水辺の安全教室や、海ごみ削減に向けた取り組み、郷土教育などが経験できます。

※安全確保のため、対象年齢や募集人数に制限があります。詳細は B&G 池田海洋クラブの SNS（Instagram・facebook）よりお問合せください。



島内の子育て世帯に協力いただいたアンケートを元に、小豆島内にある習いごとをまとめてみました。個人で教室を運営されているところも多いので、ホームページがなかったり、募集人数が限られることもありますが、島に越してもあきらめることなく様々な経験ができます！

ス ポ ー ツ



運動教室



サッカー



不動禅少林寺流拳法

●その他●
卓球・テニス・バスケ・柔道・北海道院拳法・合気道など
※スイミングスクールは島内ないので、高松・岡山に通って習っている子がいるよ！

音楽・ダンス



ピアノ・リトミック



合唱



HIPHOP ダンス

その他…和太鼓・ドラム・バイオリン・バレエなど



チアダンス

文化系



絵画



書道



プログラミング

●その他●
硬筆・茶道・そろばん・演劇・料理など

学 習



学習塾



進学塾



英会話

●その他●
KUMON・ECC・家庭教師・数学など

▶ 教室をお探しの方へ

“こんな教室ない？” “今習っている〇〇を、移住後も続けたい” そんな方は NPO法人トティエ TEL:0879-82-1199 までお気軽にご相談ください。可能な限り、情報提供いたします。合わせて、SNSや地域のネットワークで情報を得るのもおすすめです！

▶ 習いごと・スクールの情報を集めています

小豆地域の子どもたちの可能性を広げたい思いで、習いごと情報の一元化・発信を目指しています。情報をご提供いただける先生、その他情報提供等がございましたら、NPO法人トティエ TEL:0879-82-1199 までお気軽にご連絡ください。

医療

小豆島には総合病院が1つと、精神科病院が1つ、診療所・クリニックが複数あります。基本的な診療や予防接種、健康診断などは、島内の医療機関で十分に対応が可能です。



小豆島中央病院

小豆島の中心部にあり、島内全域から通院可能な中核病院。内科、小児科、耳鼻科、眼科、産婦人科などが揃っています。



その他

内科、整形外科、歯科など、診療所やクリニックが小豆島内に点在しています。整骨院や接骨院などもあります。

小児科はWEB予約ができるのも嬉しい！

一方で、都心部に比べると医療資源に限られるため、混み合うことや予約が取りづらいことも。また、病状によっては専門的治療が難しく、島外の医療機関へ紹介となる場合もあります。持病のある方や体調に不安がある方は事前に相談しておくとう安心です。



子育て世帯やひとり親家庭にとってすごく助かる！

医療費について

両町ともに子ども医療費助成制度があります。生まれてから満18歳に達する日以後の最初の3月31日まで、医療費の自己負担はありません。(令和4年8月～)

高速艇(30分)で高松に行けるので、島外の病院・医院に定期通院している人もいます！

ハードルはそんなに高くない！



TOPIC.1

病児・病後児保育室 オリーブキッズ(小豆島中央病院内)

病気のお子さんのための保育施設。病気のために保育・教育施設での集団生活が難しいお子さんを、勤務の都合など家庭でみることができない保護者に代わって、一時的に保育および看護してくれるサービスです。

対象:生後6か月～おおよそ10歳 詳しくはこちらからご確認ください。→

事前に登録が必要です。



TOPIC.2

うみまちサポートがはじまります！

小豆地域の妊婦さんが妊娠から出産・産褥期まで安心安全に過ごせるようサポートする「うみまちサポート(小豆島セミオープンシステム)」が、令和6年4月からスタート。詳細は、小豆島中央病院(0879-75-1121)へお問合せください。

大事なお子さんの命を守るために、妊婦健診と病院での出産をおすすめします



子育て支援

島の子育ての不明点・ご心配ごとがあれば下記担当課までお気軽にご相談ください！



行政子育て担当課



土庄町教育総務課



住所
香川県小豆郡土庄町淵崎甲1400番地2
TEL
0879-62-7012



小豆島町こども教育課



住所
香川県小豆郡小豆島町片城甲44番地95
TEL
0879-82-7014



移住・核家族だけど身近に頼れる相談先があって安心！



子育て全般や保育・教育のご相談から、妊娠期から子育て期の不安や悩みの相談窓口や産後ケア事業等、両町の行政では子育て世帯のサポートを幅広く行っています。また、ひとり親家庭や障がいをお持ちのお子さんへの様々な支援にも力を入れています。

子育て支援拠点

乳幼児と保護者が一緒に遊び、気軽に子育ての相談ができる場所。保護者同士が知り合い、育児や家事、地域の子育て情報の交換ができます。開放時間内であればいつでも利用可能です。

名前	施設名	所在地	電話番号 (市外局番0879)
ぴよぴよルーム	土庄こども園内	土庄町甲657番地7	62-0843
すくすくひろば	小豆島こどもセンター2階	小豆島町蒲生甲1805番地1	75-1433
わくわくランド	せいけんじこども園別棟	小豆島町草壁本町395番地	82-4228

遊び場の開放だけでなく、育児に関する教室やイベントなども開催されています。対象者や開館日時などは各ホームページ等をチェックしてみてください。

ここでママ友ができたという先輩移住者は多いよ！



その他

お気に入りの居場所が見つかりますように...

ほんとぴあ (土庄町立図書館)



むとす館 (小豆島町立図書館)



こどもさくら公園



オリーブ公園



リトル・ビーンズ (学童・乳幼児一時預かり施設)



小豆島子ども・若者支援機構



アースハーモニー



小豆島町あいいく会



まずは情報収集！

子育て情報

移住をお考えの方に向けて、行政・民間の双方から数多くの情報を発信。「行きたい、会いたい」につながる情報をゲットしましょう！



WEB

行政ではそれぞれが運営する子育て応援サイトにて総合的な案内をしています。私たちが運営するポータルサイト「小豆島・豊島移住ナビ」でも子育てやイベント情報を発信。今後は子育て専用ページも開設予定です。

土庄町子育て応援サイト



町内の保育施設や学校をはじめ、行政支援やマップを掲載。ガイドブックも定期的に発行しています。



小豆島町子育て応援サイト



0～18歳までの子育て情報を掲載しています。最新の情報を掲載した子育てガイドブックもダウンロードできます。



香川県「Colorful」



「子育て県かがわ」として、県内の子育て情報をサイトで一元化しています。小豆地域の情報も掲載。



小豆島・豊島移住ポータルサイト



移住の全般的な情報から、イベント、ブログ等幅広い情報発信を行うサイト。個別相談申込みもこちらから。



SNS

小豆島・豊島移住ナビ

Instagramでは島の日常を中心に、LINE公式アカウントではお役立ち情報、X(旧ツイッター)では島の様々な情報や島民の声をリポストしています。



フォローはQRコード(litlink)から！→



地域おこし協力隊

土庄町・小豆島町では、幅広い分野で地域おこし協力隊が活躍しています。Instagramの公式アカウントでは日々の活動や島ぐらし、定住イベント情報を発信中！要Check!!



土庄町



小豆島町

動画でCheck!



YouTube / shodoshima_ijyu

小豆島・豊島の各地区の特徴をお伝えする「集落の手帖 the Movie」や、子育てセミナーを掲載。今後は、様々なセミナーに加え、島ぐらしが感じられる動画やライブ配信を充実予定です。ぜひご覧ください！

Check it out!



島で子育て！を応援！

移住サポート



親身になってサポートします！

地方移住、しかも離島での生活となると、情報が入手しづらかったり子育てのイメージがしにくい等から、不安に感じる部分も多いのではないかと思います。私たち移住サポートチームは、そういったご心配やお悩みをできるだけ和らげたい！という想いで行政（土庄町・小豆島町）の移住担当課と民間 NPO が連携し、日々活動しています。子育て中の移住スタッフも複数名おり、同じ目線で寄り添った支援を心がけています。お気軽にご相談ください！

おいでよ！
小豆島・豊島



- 土日祝+夜間の相談ご予約も
好きなタイミングでのご相談が可能です
- 子育て真っ最中のスタッフもいます
自身の移住・子育て経験をできるだけお伝えします
- 行政と民間 NPO の連携で安心
子育て相談の他、住居、仕事等幅広いご相談が可能

移住セミナー



年に数回、東京・大阪等の都市部で島ぐらしを考え始めた方に向けたセミナーを開催しています。

※オンラインイベントの不定期開催や、セミナー動画の公開(YouTube)も行っています。

交流会・イベント



交流イベントも開催！
移住検討の方も参加できる交流イベントを不定期で開催しています。

開催予定は、移住ナビ公式サイトのお知らせ、LINE公式・Instagramの投稿をご確認ください。

島ぐらしガイドツアー



移住へのお悩みに寄り添ったオーダーメイド型の滞在サポート・コーディネートを開始！詳細は各SNS・ポータルサイトをチェック！

ご相談はお気軽に！



ご相談は、メールや対面での相談はもちろん、SNSメッセージやLINE公式アカウントでのご連絡、zoomを利用したオンライン相談も可能です。



小豆島・豊島移住ナビ(NPO法人トティエ)
TEL 0879-82-1199 ✉ cont@totie.org
🕒 9:00~17:00(年末年始をのぞく)
🌐 https://shimagurashi.jp
※対面での相談は、事前にご連絡ください



小豆島・豊島 子育てMAP!



島外からの アクセス

豊島へのアクセス、
最新情報はこちら



① 土庄港

フェリー	高速艇
・高松港(60分)	・高松港(35分)
・新岡山港(70分)	旅客船
・豊島(唐櫃港 30分 家浦港 50分)	・豊島(唐櫃港 20分 家浦港 35分)
	・宇野港(40分)

② 池田港

高松港(60分)

③ 福田港

姫路港(100分)

④ 坂手港

神戸港
(3時間20分)



詳しいアクセス、
最新情報はこちら

小豆島・豊島
島で子育て!
GUIDE BOOK
2024年版

発行：NPO法人トティエ
制作：NPO法人トティエ
堀川愛理(土庄町地域おこし協力隊)
インタビュー取材・文：城石果純(株式会社DaRETO)
デザイン：笠井佐和子(マルシマ印刷株式会社)
印刷・製本：株式会社バオ・フィール

＼ LINE公式アカウント 開始しました! ／

島での子育てをイメージできる情報に加え、仕事や家探し、島内外でのイベントなどの幅広い情報を月2回+α発信! ぜひご登録ください!!

